

2022年度通常枠（再募集） 草の根活動支援助成（全国） 社会的困難者が役割と希望を再生するコミュニティ活動 助成申請実行団体 概要表		
申請受付番号	1	2
事業名 (副題)	高校生専用のマチ自習室の開設	キャンプ場における社会復帰予備校 (孤立者の社会的役割を見出し社会復帰に向けた第一歩を共に探求する)
所在地	富山県南砺市	富山県富山市
団体名	かわまち準備室仮	株式会社ガラバゴス
事業概要	<p>2022年3月末に福光地域唯一の高校であった「富山県立南砺福光高等学校」が閉校し、地域の高校生が放課後安全に過ごすことが出来る居場所が無くなった。</p> <p>高校が無くなったことで地域の子どもたちは皆、公共交通機関を使った地域外の高校へ通学している。</p> <p>そのことによって発生している親の送迎負担を緩和し、「働きたい親」と「安全な居場所が欲しい子ども」のための【高校生専用のマチの自習室】を開設する。</p>	<p>働きにくい環境にある方（障がい者・引きこもり・シングルマザー・DV被害者等）が当施設において社会への第一歩を踏み出す事により、社会的役割や働きを見出し地域社会との繋がりを通し自信を持って暮らせる環境をつくる。</p> <p>様々な理由で働きにくい環境にある方々に関連する福祉施設や行政職員と協力し手を差し伸べ、実行団体の施設を社会復帰への予備校として活用する。前回の休眠予期活用事業の薪割り事業で気づいた働きにくい環境にある方が個性を持ち適材適所で働くことによりさらに能力を発揮できる環境の提案をする。清掃や受付業務、草むしり等キャンプ場で発生する様々な仕事に加え、近隣農地での農作業等を実施し、自身の思いと適性を確認し社会的役割を見出し、社会復帰への第一歩として就労へとつなげる。また農作業で収穫した野菜の直販など、地域と関わる活動も行う。予備校の期間に施設関係者や利用者及び地域住民との繋がり機会を設け、地域で暮らすための経験やネットワークづくりの支援を行う。同時に予備校までの移動が困難な対象者へ送迎や住み込みの環境を整備する。並行し、人材不足に悩む地域企業や事業所に社会的企業の役割と意義を知ってもらうため、地元企業や事業所を訪問し、今回の事業の紹介と社会的企業への意識を高めて頂き、対象者の働く場の提供等の協力をお願いする。予備校から社会的企業や事業所への紹介や就業開始にはハードルがあると考えられ、橋渡しや就業当初の伴走機能を担う体制整備を関係者と進める。</p>